



条幅規定

成家 堺 峰雪

書きなれた筆捌きで、明るく上品な雰囲気を出しているがや、手本に捕らわれすぎの感あり。成家としての峰雪ワールドを期待している。人生百年。大輪の花を。

条幅随意

師範 龍 由香里

長鋒筆で大字と小字との組み合わせ。力まず詩情豊かに春の雰囲気漂わせる。ゆったりと春の訪れと温もり、そして、ゆれる行間と余白が木洩れ日さえ感じられ、格調の高い作となった。

条幅随意(臨書)

師範 重富 翠柳

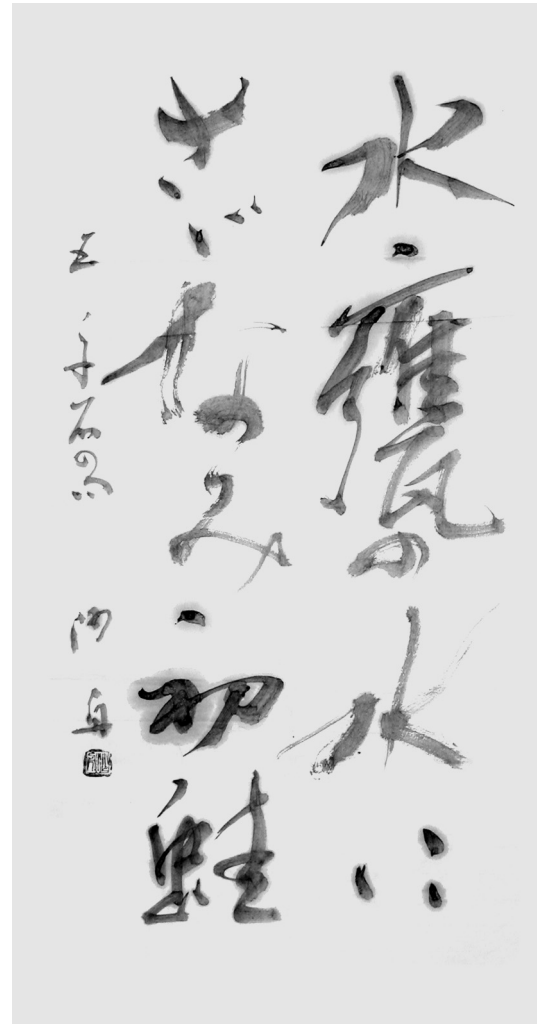
損傷のひどい孔宙碑をここまで美しく、整然と臨書され、その根気と書に対する意気込みが伝ってくる快作である。この腕、漢碑を極めていくと大成するかもしれない。期待大！



半紙規定

成家 松原 華月

華麗な筆捌きで運筆に迷いが無く、爽やかな表情に仕上がっている。やゝ虚線が目につくのは残念だが、成家としての自信が漂っている。



半紙随意

師範正 白石 青桃

淡墨でふつくとした温もりのある線と淀みない流れが魅力的。自然に計算された文字の大小、潤渇は流石師範正。次の一步に期待する。



半折1/2縦

師範正 下川 沙舟

大成功とはいわないが、日頃の淡墨への挑戦には頭が下がる。今回は詩情に合い、甕にゆれるさゝなみ、水に光る蛙などが墨色と相俟って、素朴の中にも技量の確かさと創意工夫を感じる。



半紙随意(臨書)

成家 下田 華恵

新しい顔ぶれではあるが、同成家に引けを取らぬ力量の持ち主。古典の収得の量が表現の幅を広げ、己の幹を大きく太くしてゆく。期待している。



学生部条幅 (1/4)

中三 特待生 田口 美来

中学最後に「最優秀」おめでとう！
う！今後は、書道の本当の楽しさを
を知るためにも、さらに頑張っ
てほしいと思います。期待して
います。

松下 心優

小一 5級
かみいっぱいに「はな」がさいた
ようなみゆさんの
のげんきあふれ
たさくひんです。
おしゅうじのた
のしさがつたわ
ってきます。

中村 りこ

小三 3級

きほんのふでづ
かいがきちんと
できたりつばな
さくひんです。学
校でも「書写」が
はじまりますね
これからがんば
って下さい。

石橋 由柳

小三 準4級
力のこもった線
で元気よくどう
どうとした作品
が書けましたね
名前まで気をぬ
かずしつかり
と練習ができて
います。

末兼明日香

小四 準5段

伸びやかな線に
魅力のある明る
い作品です。名
前までしつかり
と練習のできた
完成度の高い立
派な作品です。
今後に期待大！

山田 紗良

小五 4段
明るくすっきり
とした線で、漢
字と平仮名のバ
ランスも良くま
とまりのある作
品です。さらに上
の段位を目指し
てがんばって！

村上美紗希

小六 4段

難しい課題でし
たが、伸びやか
に書いています。
「右ハライ」や「ハ
ネ」を少し丁寧
に書く完成度が
高くなります。
期待大！

南島 幸奈

中二・三 特待生
さすが「特待生」
の作品です。線
に伸びやかさが
あり、リズムに
乗った筆運びが
見事です。今後
は是非一般部へ
も挑戦を！

硬筆部最優秀作品

(3月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

古代の中国人は、「春」という漢字を通じて、季節の移り変わりの中で太陽の光が増し、万物の生命力が旺盛に燃え始めようとする時期を植物が芽生えるまでを表したという。

氏名 岩切 夕海

空はどんよりと暗くなり、風も冷たくなり雪は女の子の赤いセーターの上に、白いもようを付けました。

氏名 カ久 恵衣

モチモチの木つてのはな、豆太がつけた名前だ。小屋のすぐ前に立っているでっかい木だ。

氏名 原 千尋

しまうまの赤ちゃん、は生まれたとき、には、やぎくらの大きな、松井さくら

氏名 松井 さくら

書 詠
桜の蕾が、ふくらむ春が、やってきました。昨今は、一瞬に、夜桜を、楽しむひと、と、も、良い、思い出、になりました。母の、よ、うに、優、しく、温、かく、散、り、ま、わ、の、い、や、き、も、よ、うに、共、感、する、もの、が、あ、る、も、う、す。あなた、が、戴、いた、や、く、ら、の、色、の、お、カ、チ、ーフ、を、目、連、に、愛、用、で、や、つ、つ、た、だ、き、ま、す。お、違、い、する、目、を、た、の、ぬ、に、い、れ、ま、す。ど、う、ぞ、を、身、に、自、愛、し、た、い、ま、せ、。

氏名 後 み

なんともかんととも美しいむすめが、ふぶきの中に、ぽつぽつと立ってあった。聞けば、旅の者だが、道に迷って、雪の中をようやくここまで来たと言う。

氏名 織戸 美遥

モチモチの木つてのはな、豆太がつけた名前だ。小屋のすぐ前に立っているでっかい木だ。

氏名 伊藤 歌音

しまうまの赤ちゃん、は生まれたとき、には、やぎくらの大きな、みやもときりは

氏名 伊藤 歌音

中国の科挙は官吏を登用する試験で、難関で鳴る方、栄達への道とされた。しかし、カンニングや替え玉などあの手この手が横行し、清の時代には、発覚すれば数年の流刑になったという。

氏名 櫻井 敏子

学校や家の周りには、自然がたくさんありました。放課後、いねかりの終わった田んぼや空き地で、木の板をホームベースにして、暗くなるまで野球をやっていました。

氏名 中根 希紗

空はどんよりと暗くなり、風も冷たくなり、雪は、女の子の赤いセーターの上に、白いもようを付けました。

氏名 大東 美颯

あつというまの一年間。書いてのこそ、そう、楽しかった。二年生のこと。

氏名 山崎 心海

松井 さくら 小一 4級
一文字一文字、ていねいに、そしてげんきよくかけたりつばななくひんです。名前もとてもじょうずにかけています。

原 千尋 小三 準四段
さすが上位有段者の作品です。ペンを上手に使いこなし、大人顔負けの作品です。この調子でさらに上の段を目指して下さい。

伊藤 歌音 小三 準四級
すこし押さえすぎた点がおしこったのですが、むずかしいペンで一生けん命に、お手本を見て形よくていねいに書いています。

大東 美颯 小四 二段
一文字一文字、お手本をしっかりと観察して、漢字と平仮名のバランスもよくていねいに書いています。この調子で一枚でも多く練習しましょう。

中根 希紗 小六 五段
いつもながら大人顔負けの作品に頭が下がります。細部までお手本を観察する力も見事。さらに上段位を目指して下さい。

カ久 恵衣 小四 初段
すっきりとしたシャープな線で明るく書いています。五年生になると行が増えるので、もう少し細いペンを使いましょう。

織戸 美遥 小五 三段
ペンを上手に使用して、しっかりと練習のできた作品です。六年生の課題は文字が増えるので、もう少し細いペンを使いましょう。

岩切 夕海 中学 準特待生
「継続は力なり」ですね。長年の努力がだんだんと実になってきましたね。特待生までもう一歩です。頑張ってください。期待大。

身深 俊子 一般 師範
音楽を奏でるような流れと文字の大小の変化や抑揚の変化が自然で腕の確かさを感じます。師範正への挑戦を！

山崎 心海 小二 準二級
のびやかな線でのびやかな線、明るく、元気よく書いた作品です。さすが最優秀の常連ですね！これからも期待しています。がんばってね。

宮本 桐葉 小一 準六級
お手本をよく見ていっしょくたに書いています。エンピツの先がすこしまるくなったのがおしこつたです。がんばってね。

櫻井 敏子 一般 準師範
真面目にお手本と向き合い、丁寧に書かれています。完成度が高く、白眉の作品です。今後は「師範」への挑戦をお薦めします。